

【資料1】2021 第1回 ラウンドテーブル

ボーイスカウト沖縄県連盟の広報戦略について

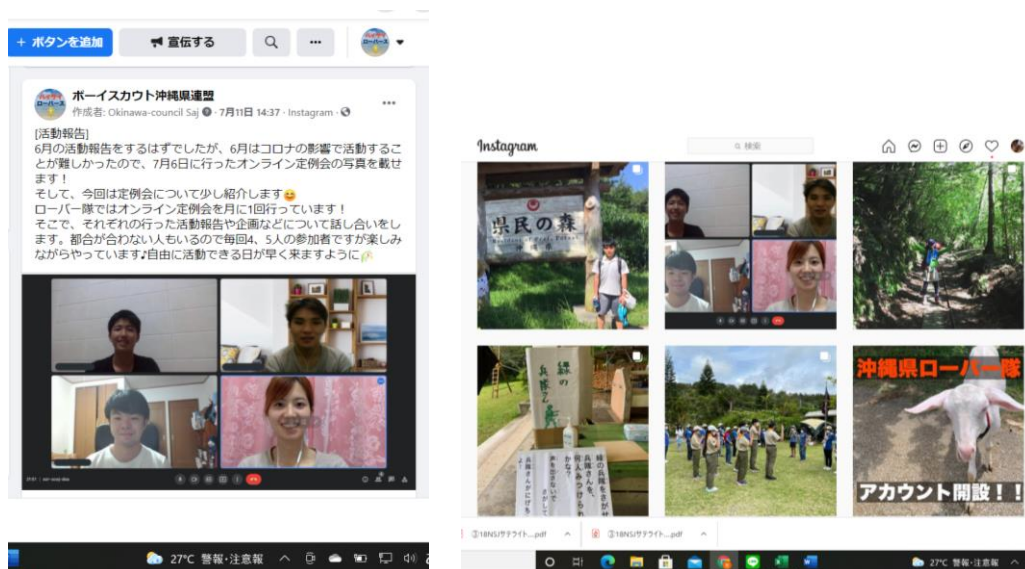
“いま、スゴイことをやっています。”

1. 広報の課題

- ・ スカウトの増員、及び組織拡充を図るため、スカウト活動、スカウト運動に関する広報を強化する必要があります。
- ・ これまでの、加盟員向けの情報発信のみならず、加盟員増に向けて、広報の対象(ターゲット)を見直す必要があります。
- ・ 一般的な情報ツールがスマートフォンになっていることから、時代に即した広報手段を取り入れる必要があります。

2. 広報手段について

- ・ 今現在、汎用性が高く、特に若い世代を中心に普及している Instagram、Facebook の公式アカウントを開設し、運用を始めました。
- ・ 上記の Instagram と Facebook は同期しており、掲載記事はほぼ同一になっています。



3. コンセプト及びターゲットについて

- ・ この新たな広報戦略のねらい(コンセプト)は、「スカウト達に見てほしいコンテンツ」としています。これにより、スカウト達にスカウティングにより魅力を感じてほしいと考えています。
- ・ ターゲットは、『スカウト>保護者>一般の方』としており、従来の内部への情報発信とは明確にターゲットを分けています。
- ・ 成長したローバー達の姿を見て、スカウティング運動の一貫性を理解していただくことを意図しています。

4. InstagramとFacebookの運用について

- ・ この新しい広報戦略では、運用を全面的に沖縄のローバースカウトに託しています。
- ・ これは、時代に即した広報のあり方を若い世代の感性に期待することと、スカウティングそのものを子供たち(若い世代)に任せるという、基本的な考え方に基づいたものです。

5. 実は“スゴイこと”

- ・ この取り組みに参画しているローバーは、ほとんど県外在住です。沖縄で生活しているローバーは数少ない状況です。
- ・ 全国、各地で生活しているローバー達がつながり、自主的に活動し、地元沖縄のために頑張っています。
- ・ 各都道府県のローバーがアカウントを開設しているのは例としてありますが、広報の中心としてローバーが参画しているのは、全国的にも稀だと聞いています。

6. 広報の所管

- ・ 県連盟の広報の所管は、組織の中では、運営委員会に属しています。
- ・ 広報に関しての責任の所在は、運営委員会と県連盟コミッショナーにあります。
- ・ この運用に際して規程も整理しております。また、アカウントの開設は県連盟が行っており、不適切な投稿があった場合には、運営委員会と県連盟コミッショナーは、いつでもコンテンツを削除、あるいはアカウントを停止することができます。

7. 今後の展開

- ・ 組織拡充のため、今後も広報を充実してまいります。
- ・ 一方で、現時点でも沖縄県連盟では複数の広報ツールを運用しております。
- ・ 今後は内容の充実と併せて、広報ツールの整理・集約を行ってまいります。

【資料 2】 2021 第 1 回 ラウンドテーブル

セーフ・フロム・ハームの取り組みについて

1. 沖縄県連盟の取り組み

- ・ セーフ・フロム・ハームの窓口を、コミッショナー委員会(グループ)に位置付け、県連盟内での所管を明確にしました。
- ・ セーフ・フロム・ハームに関する事案については、各コミッショナーへご連絡、ご相談下さい。

2. セーフ・フロム・ハームの基本的な方針

- ・ 基本的な方針は、次の 2 点です。
 - ① 「思いやりの心を育てる教育」の推進
 - ② ハームに発展させない、該当させないための、予防の徹底、予防策の推進

3. 委員会で担当する業務

- ・ 委員会で担当する業務は次のとおり想定しています。
 - ① 「思いやりの心を育てる教育」を推進するためのプログラム開発
 - ② セミナー等研修の企画、開催
 - ③ 事案が発生した場合の対応
 - 日本連盟「セーフ・フロム・ハーム県連盟対応ガイドライン」により対応

4. 今後の取り組み

- ・ 委員会が実際に活動できるように体制を整えたいと考えています。
- ・ プログラム開発及び事案対応のために、コミッショナー以外の委員を募集したいと考えています。
 - プログラム開発は、原隊の指導者からご協力いただきたい。
 - 事案に対応するために、専門的な知識、技能を有する方にご協力いただきたい。
- ・ セーフ・フロム・ハームの対応窓口を、HP 等で明示する。



セーフ・フロム・ハーム
県連盟対応ガイドライン